

## 令和6・7・8年度 ひょうご出前環境教室講座募集にかかる Q&A

### ・提出資料について

Q1 添付資料に記載の補足資料とはどのようなものを提出したら良いのですか。

A1 補足資料には、他の様式で記載のできなかつたものをご記入ください。様式は任意です。  
必須ではありませんが、協会へ申込者より講座の受講の相談があった際に、アピールポイントの説明に使用します。

(例)

- ・ひょうご出前環境教室の講座以外にも同様の内容の講座に登録しており、児童館からの依頼をよく受けている。
- ・団体としてはこういった活動をしており、〇〇が強みです。など

Q2 ホームページを持っています。様式1の経歴に記載しても良いでしょうか。

A2 団体や、個人で環境活動に関することを記載しているページであれば、記載していただいても結構です。個人の趣味だけのページの記載は、ご遠慮願います。また、様式1は講座登録された場合、協会のホームページに掲載するものとなりますので、内容によっては登録時に削除いただくこともありますのでご了承ください。

Q3 添付資料①(受講者へ配付予定資料・パワーポイント資料)は必須となっていますが、体験型講座のために該当するものはありません。どうしたら良いのでしょうか。(11.8追加)

A3 体験型で提示する資料や配布資料どちらも無い場合は、プログラム講座紹介の欄に「配布資料はありません」と記載ください。また、その場合はあれば構いませんと記載しておりますが、講座のイメージができるように、添付資料③(実施の様子がわかる写真)や補足資料(使用する道具の画像等)をできるだけ提出願います。

Q4 様式1、1-2、2、2-2についてテーマと該当SDGs目標番号という箇所がありますが、このテーマとはSDGsのテーマについて記載するのでしょうか。(11.11追加)

A4 テーマについては講座で行う内容のテーマについて記載願います。この講座ではこのような内容の講座を行い、これはSDGsのこの番号の目標と関連します。となります。

提出の際は講座のテーマの下のSDGsマークは該当のもののみ残しておいてください。  
記入例も参考にご覧ください。

### ・シリーズ講座について

Q1 シリーズ講座(2回実施型)のみの応募はできますか。

A1 シリーズ講座のみの応募はできません。

出前環境教室の講座は、基本は1回完結です。シリーズ講座は基本講座とさらに発展した充実講座を連続して受講する講座になりますが、申込者がどちらでも選択できるようにするため必ず1回完結型(基本講座)とシリーズ講座(2回実施型)の両方を応募してください。(11.8一部追加)

Q2 前後編で内容の分野が変わるものはなぜ認められないのですか。

A2 A1に記載のあるとおり、シリーズ講座は主な学習テーマの内容を基本から発展して学ぶ講座ですので、同じ分野、同じテーマにする必要があります。そのため環境全般というテーマでのシリーズ講座も認められません。

Q2-1 シリーズ講座は分野、テーマは変えてはいけませんが、内容は変わるということでしょうか。(11. 8 追加)

A2-1 シリーズ講座は前編(1回目)に続き後編(2回目)を受講し理解を深めるもので内容は変わるということでは間違いありません。前編からどう学んで後編でどう生かしていくのか、2回講座を受けるメリットがわかるように記載してください。また、シリーズ講座は1回完結型(基本講座)の続編(より深めた講座)となりますので、1回完結型(基本講座)と明らかに違う内容での登録は認められませんので、ご注意ください。

Q3 「1回実施型」講座の登録が認められた講座は、必ずシリーズ講座「2回実施型」も認められますか。

A3 審査委員会で再講座とも選定される必要があります、必ずしもシリーズ講座も認められるわけではありません。

Q4 シリーズ講座の様式の中に推奨受講期間とありますが、この記載は必須ですか。

A4 前後編でより理解していただくための講座となりますので、1回目の学習効果があるうちに最適な2回目の実施時期を考慮し記載願います。

Q5 シリーズ講座を申込する場合は、2回目も都度申し込むのでしょうか。(11. 8 追加)

A5 申込者は申し込みの際にシリーズ講座であることがわかるように申し込みを行いますので改めての申込書による申し込みは不要です。(申込の際に1回目の講座の希望日とともに、2回目の実施予定月を記載していただくよう様式を変更する予定です。)2回目の日程は講師と調整し確定後、申込者から事務局へ連絡いただき、その後、事務局から講師、申込者へ開催決定通知を送付します。

Q6 シリーズ講座を申込しても2回目がコロナの蔓延等で中止になる場合があると思いますがそれでもいいのでしょうか。(11. 8 追加)

A6 やむを得ない事情で中止となる場合は申込者からの取下げ書の提出が必要ですが、問題ありません。

Q7 シリーズ講座を実施する場合は、1申込につき、2回講座を行うこととなりますが、謝金はどうなるのですか。(11. 8 追加)

A7 2回分の謝金が支払われます。1回目の講座を終了後、講師、申込者から報告書の提出、2回目の講座を終了後、講師、申込者からの報告書の提出を確認後謝金の支払いを行いますので、それぞれの終了時に支払われます。

・その他

Q 1 1分野につき1講座などの制限がありますが、1講師として登録可能な講座数は最大いくつになるでしょうか。(11. 8追加)

A 1 1分野を1回完結型(基本講座)とシリーズ講座(2回実施型)(講座タイトルは同一とすること。)で登録。別分野にて1回完結型(基本講座)で登録を大人向け・こども向けに登録することが可能です。公開されるプログラム数としては4講座+2シリーズ講座の計6つとなります。

(例) 1. 資源循環分野で1回完結型(基本講座)こども向け⇒ 様式1使用

1-(2). 資源循環分野でシリーズ講座 こども向け(1の講座の続編(より深めた講座)) ⇒ 様式1-2使用

2. その他分野で1回完結型(基本講座)こども向け⇒ 様式1使用

3. 資源循環分野で1回完結型(基本講座)大人向け(1の大人版)⇒ 様式2使用

3-(2). 資源循環分野でシリーズ講座 大人向け(4の講座の続編(より深めた講座)2の大人版)⇒ 様式2-2使用

4. その他分野で1回完結型(基本講座)大人向け(3の大人版)⇒ 様式2使用